

日医工MPI行政情報

<http://www.nichiiko.co.jp/stu-ge/>

「地域医療連携推進法人」の概要

株式会社日医工医業経営研究所（日医工MPI）

作成：(公社)日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第4828号 長岡俊広

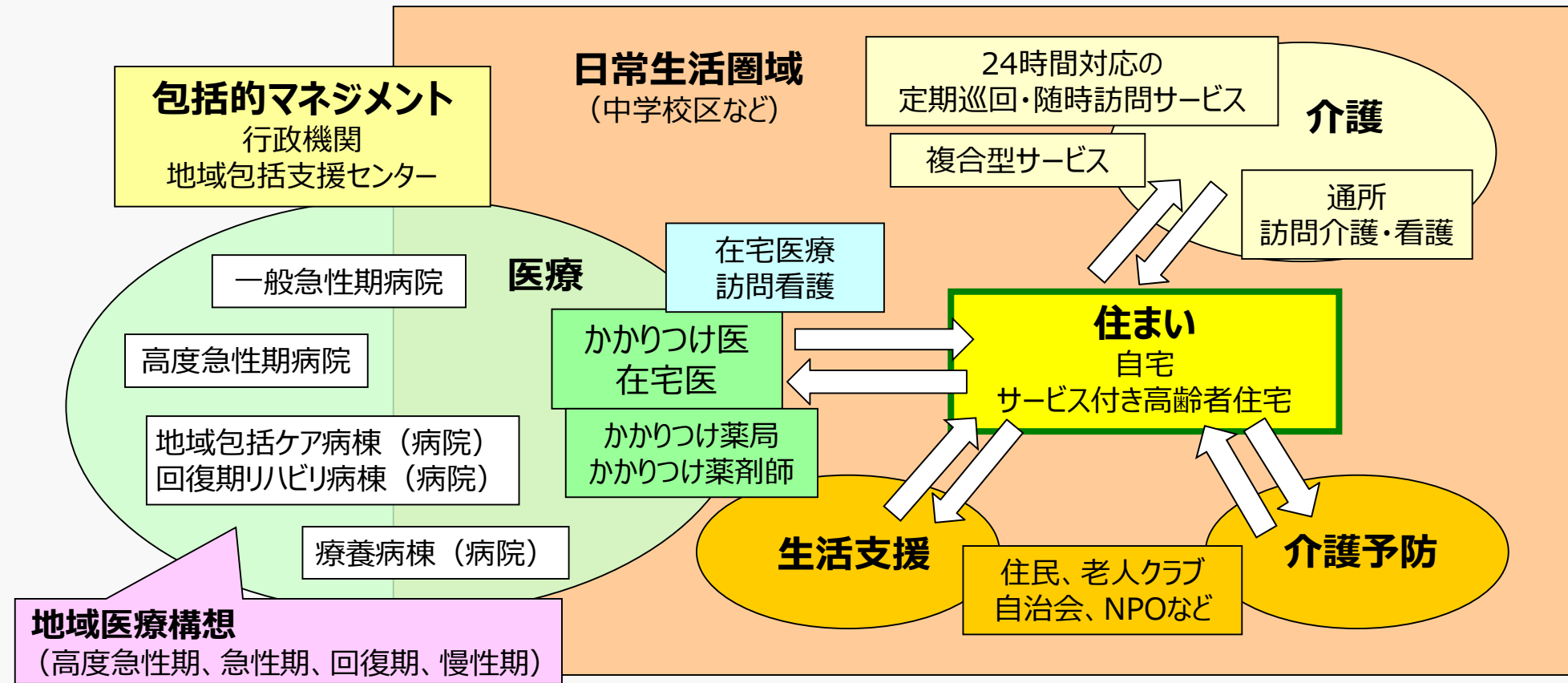
監修：(公社)日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第4217号 菊地祐男

資料No.20170314-453



株式会社 日医工医業経営研究所

地域医療構想 実現の切り札（選択肢の一つ）



2025年を乗り切るために、
地域包括ケアシステムの実現は必須



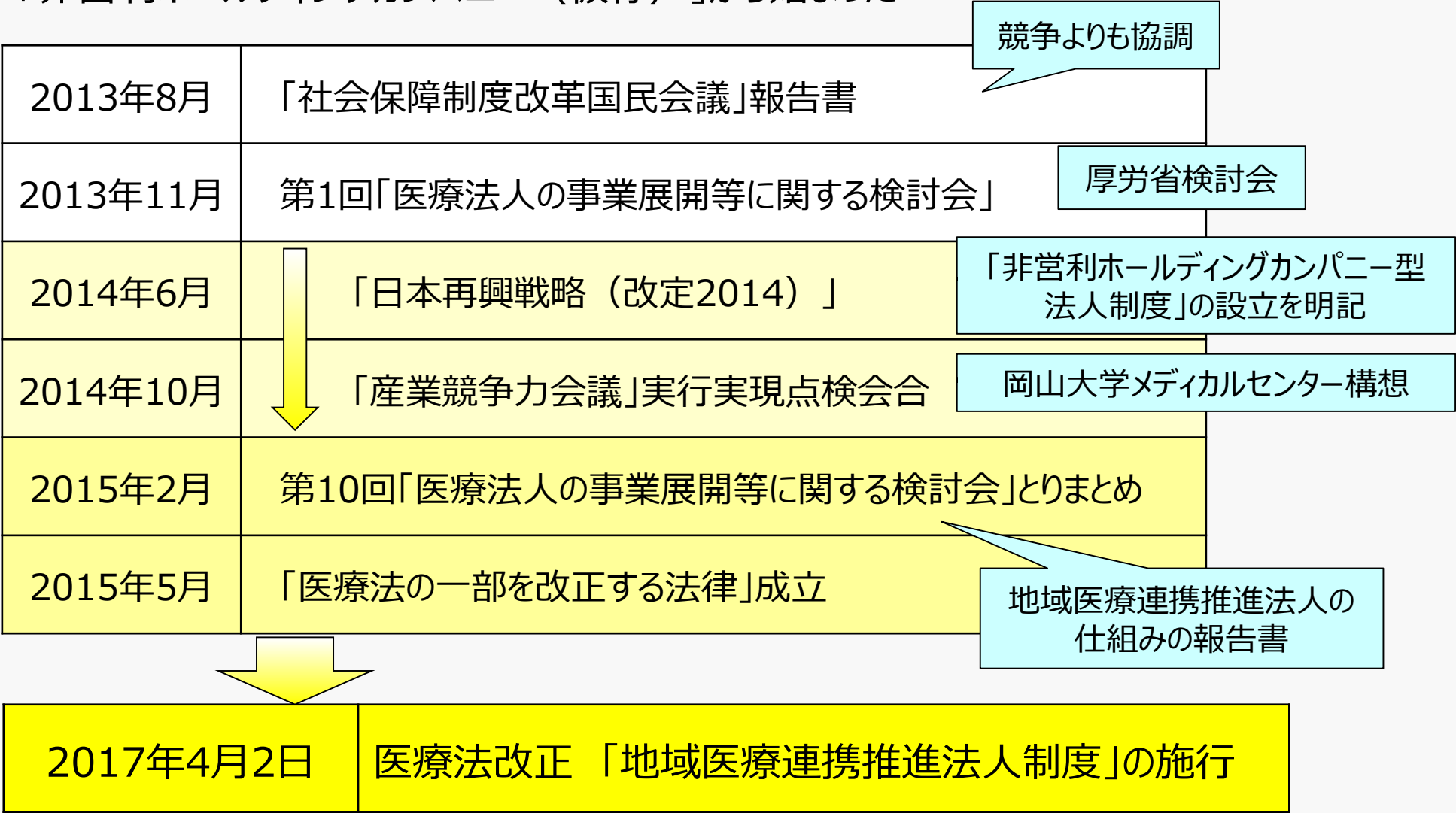
地域包括ケアシステムの遂行ために、
地域医療構想の実現は必須



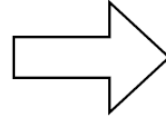
地域医療構想を実現するためには、
地域医療連携推進法人が切り札
(選択肢の一つ)

施行までの経緯

「非営利ホールディングカンパニー（仮称）」から始まった



<法人設立前>



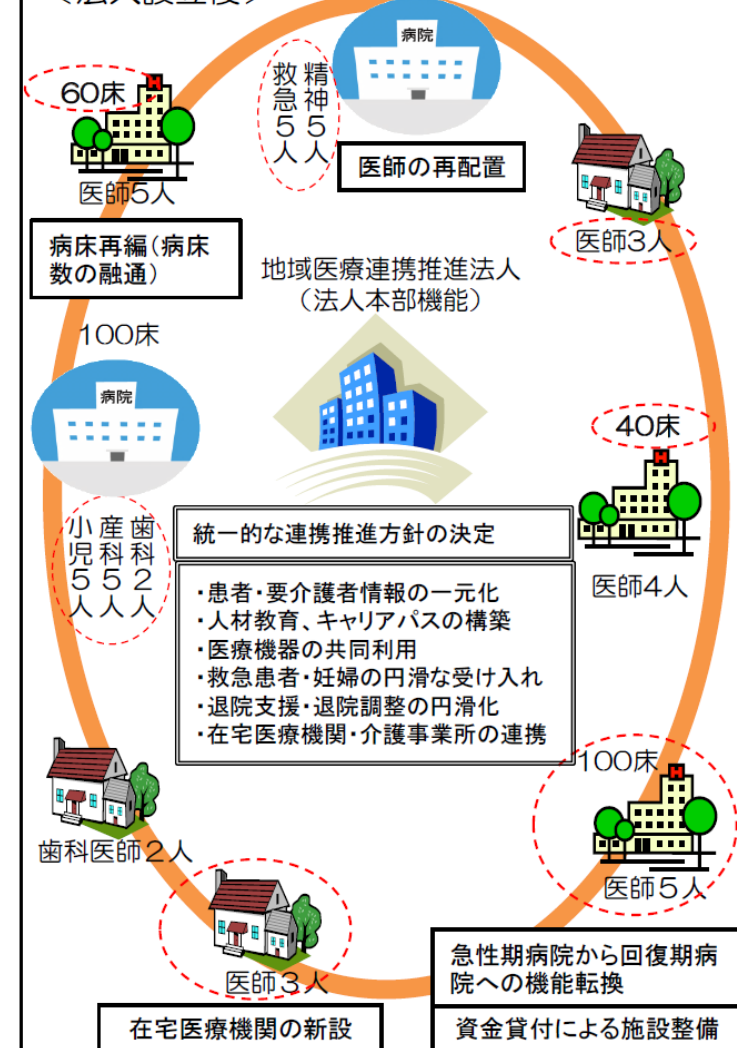
グループ内の
未機能の分化・連携

急性期病院
過剰 → 適正化

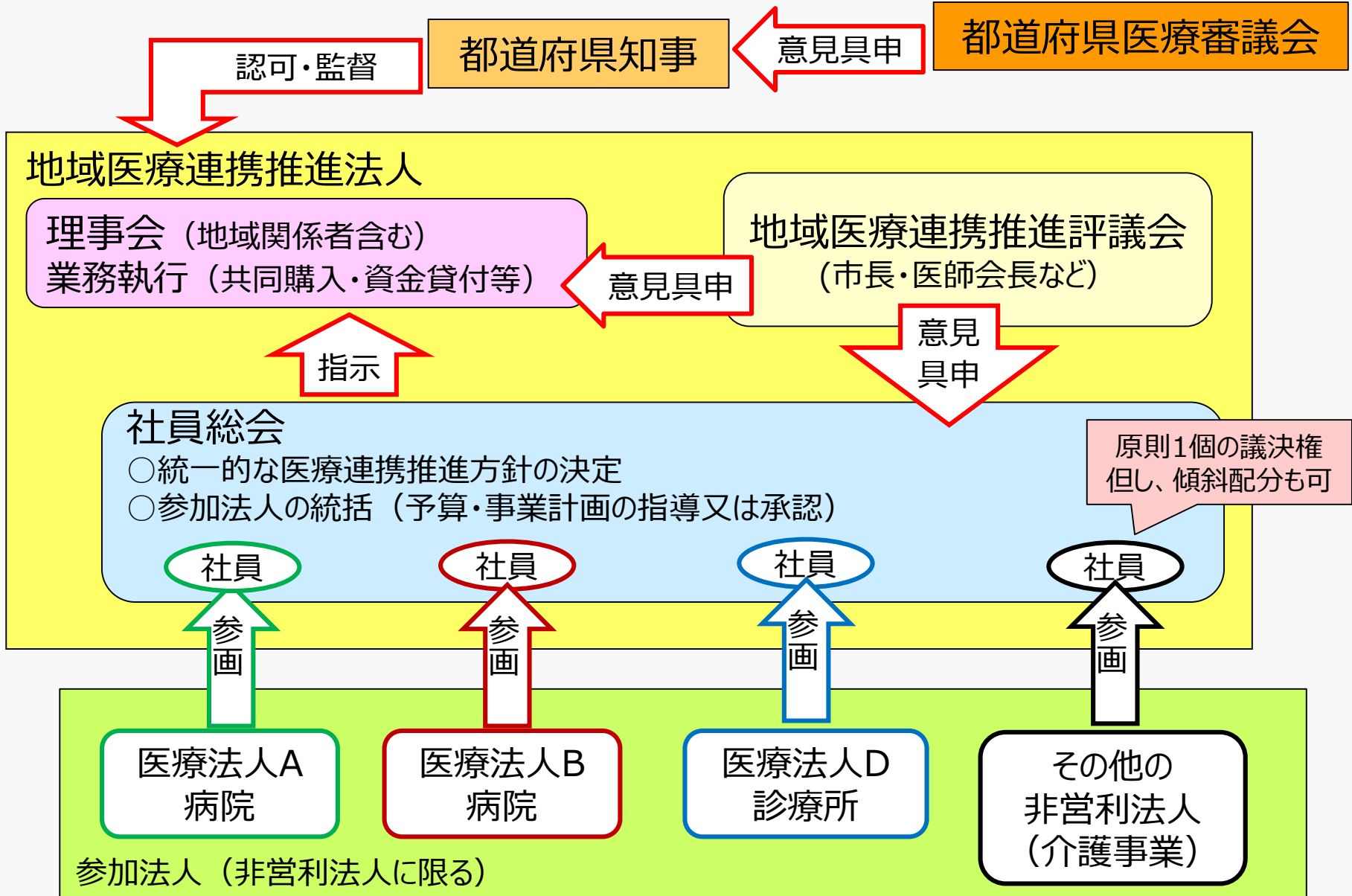
回復期病院
不足 → 充実

在宅医療機関
不足 → 充実

100床

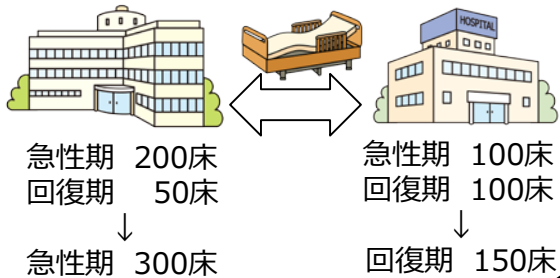


地域医療連携推進法人の仕組み



地域医療連携推進法人の主な業務

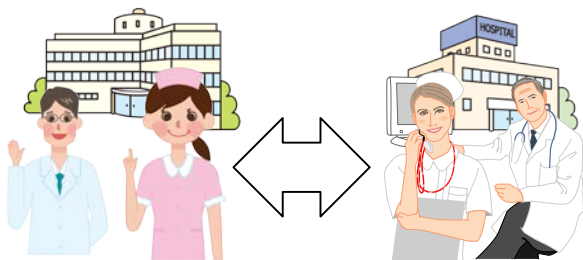
病床の再編



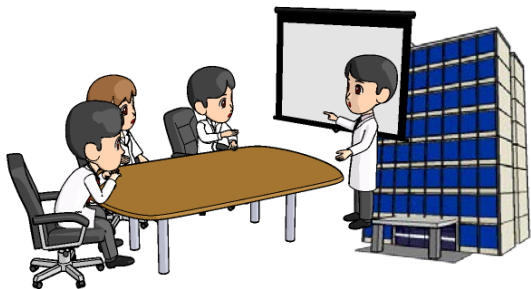
患者情報の一元化



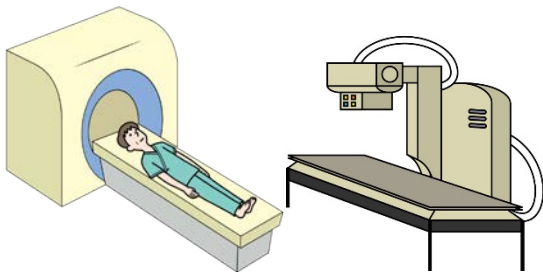
人事交流



医師・看護師等の共同研修



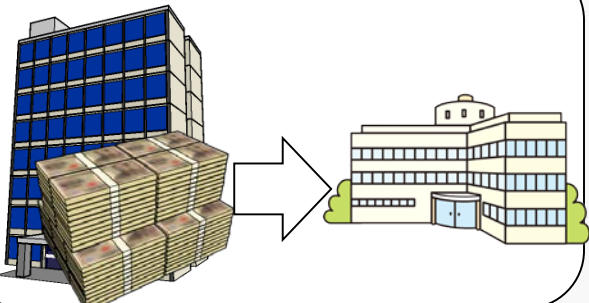
医療機器等の共同利用



病院開設



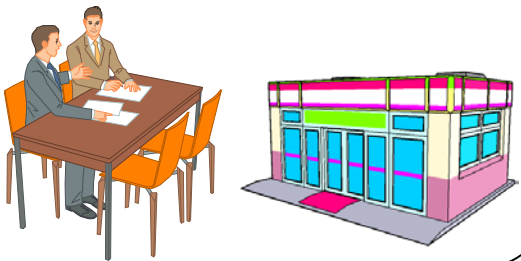
資金貸付



医薬品等の共同購入



株式会社の保有



地域医療連携推進法人とは（メリットと課題）

<メリット>

- ・地域住民に対する安定的な医療・介護提供体制の構築
- ・地域の人口変動や地域医療構想に柔軟に対応が出来る
- ・地域連携のスムーズ化により、連携に関する診療報酬に関する算定率の向上
- ・共同研修や医療機器の共同使用による効率化
- ・医薬品の共同購入による、交渉力の強化
- ・医療経営の安定化
- ・地域にある人材流出の防止 等

<課題>

- ・地域医療連携推進法人内での取決め等の煩雑さ
- ・非営利法人に対する、医療機関の参加への躊躇



地域医療連携推進法人とは、
・・・連携以上、統合未満・・・
一言でいえば複数施設の事務管理部門と例えられる

検討事例（厚労省）

地域医療連携推進法人制度の活用による医療機関等の連携が検討されている事例

参加予定: 大学病院、市立病院、独立行政法人立病院等 内容: 総合病院同士のグループ化によって、機能分担、業務連携を検討。	岡山大学メディカルセンター構想 愛知県三河（藤田保健衛生大学）
参加予定: 中規模の医療法人等 内容: 地域の中堅病院の間で、診療科目の分担、職員の相互交流等の連携を検討。	岡山県真庭市 （金田病院・落合病院）
参加予定: 医療法人、社会福祉法人等 内容: 総合病院、診療所、介護施設等の中心に、総合的なコールセンターを設置し、連携促進を検討。	石川県七尾市 （董仙会恵寿総合病院）
参加予定: がん治療を専門とする医療法人 内容: 薬剤の共同購入や高額医療機器を使った治療の連携等を検討。	鹿児島市 （相良病院・にいむら病院）
参加予定: 自治体病院と医療法人 内容: 自治体病院の改築にあわせ、地域の病院再編のため、制度の利用を検討。	山形県酒田市 （日本海総合病院）
参加予定: 中規模の医療法人等 内容: 患者の電子カルテの統一を中心として連携を検討。	
参加予定: 中規模の医療法人等 内容: 入院中の患者等への給食サービスの共同化を中心として連携を検討。	
	MPI付記
	離島・へき地の検討事例
	鹿児島県（奄美大島） 瀬戸内町へき地診療所